

竹田茂伸 議員



労働組合との円滑な関係を

問 医療に関する町民の安心・安全を守るには、職員が、奉仕の精神で元気に仕事ができること、充実した明るい職場になることが重要と考えています。

答 管理職の教育体制、ハラスメントの相談体制など、職員が相談しやすいシステムを作り、職員の声を聴く体制づくりなど、早急に労働組合との円滑な関係づくりを進めるべきではないでしょうか？

今後は定期的に

話し合いの場を

答 労働組合とのコミュニケーションが十分とれていないこともあったので、先般、話し合いの場を設けたところです。

今後は、情報交換の場として定期的に行うこととし、改善していきたい。

電子カルテの早期統合を！

問 政府は、新しい資本主義の主な重点投資分野で、脱炭素、デジタル化の中に電子カルテ情報の効率化を進めるために、医療デジタル化を推進する本部を設置する予定です。

答 病院再編計画を成功させるためには、「イノベーション・マネジメント」の導入が急務と考え、早急に病院事業局内の電子カルテの統合を提案します。

統合について検討

答 令和6年には、電子カルテと連動している医事会計システムの更新時期がくることから、電子カルテの統合について検討してまいります。



話し合いを通して、明るく充実した職場環境を！

山中正樹 議員



「三角巾」をAEDの付属品に！

問 傷病者の性別により、AEDの使用を躊躇しないよう「三角巾」を付属品に加えていただきたい。

けが等応急処置にも利用！

答 「三角巾」をAEDの付属品として備えることは、プライバイシーの保護に加え、けが等の応急処置にも利用できることから、町で管理する69台に関しては、予算の範囲内で順次対応してまいります。

その際は、「三角巾」の利用方法を記載したリーフレットも添えて、準備をしたい。

旅先納税導入を！

問 旅先納税は、ふるさと納税の新ツールとして、我が町に来訪促進が期待できるので、システムを確立し、導入を考えていただきたい。

慎重に調査・研究

答 「旅先納税」は、ふるさと納税のツールがひとつ増え、これまで返礼品の恩恵を受けづらかった宿泊施設、飲食店、観光施設などにおいて、利用ができ、さらなる消費喚起、交流人口の増加及び町内業者の新たな地域活性化につながっていくものと考えられます。

旅先納税は、全国で5自治体が導入していますが、まずは先進事例を参考に調査・研究してまいります。



三角巾で応急処置